

Rotary Yachiyo



2022-23 年度国際ロータリーテーマ

「イマジン ローターリー」

2022-23 年度クラブテーマ

「ロータリーを学び、語り、

奉仕を実践していこう。"Think"」

週 報 第 2 6 9 2 回

2023 年 3 月 1 7 日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

今回例会行事

テーマ：「SDGs 未来都市やちよの実現を」
— 市民発八千代ユネスコ協会の実践 —

担当：R 財団委員会

卓話者：八千代ユネスコ協会

事務局長

高山敏朗様

次回例会 3 月 3 1 日

テーマ：炉辺会談

担

当：会長・幹事

◆◆◆第2691例会◆◆◆

司会 中島貞好

「奉仕の理想」「四つのテスト」

お客様

大和田地域包括支援センター

センター長 安達直弘様

会長挨拶

会長 杉 晟

皆さん、こんにちは。

先週3月4日土曜日に八千代ロータリークラブにとって、大いに誇れる記念式典に参加しました。それは、わがクラブ会員上代修二様の「旭日小綬章」、勲章感謝の会でした。改めまして、上代さん、栄えある勲章、誠におめでとうございます。当日は代表幹事という名前で杉、君塚会員、稲山会員と共に3人が紹介されました。私は、八千代ロータリークラブ会長としての挨拶をしましたが、代表幹事としての挨拶をせず反省しておりました。素晴らしい式典にマイナスの顔は禁物と思い、上代会員の感謝の辞でありました様に、皆さんも良い縁を結んで頂ければと思いますし、また、いい出会いがあると良いと思い、沢山の方とお話させて頂きました。今年は82歳になりますが、ずっと立っていました。ゴルフのおかげか意外にも

平気でした。

先週は「三方よし」と、「パーパス経営」についてお話ししました。皆さん是非週報をお読み頂ければと思いますが、いずれも素晴らしい考え方であり、ロータリーの心にも通じるといいます。これからどのように会社を運営していくか、社会にどの様に貢献していけるのか、「パーパス」という言葉を覚えて頂いて、ひとつの考え方として頂ければと思います。「パーパス」は SDGs につながる事でもあり、非常に注目されています。一橋大学ビジネススクール名和高司氏という方は、盛んに大・中・小企業向けのセミナーやフォーラムを行っていますので、是非ご参加頂ければと思います。

青春の詩に「理想が無くなった時に人は老いる」、「20 歳だろうと人は老いる。希望の波をとらえるかぎり 80 歳であろうと人は青春の中にいる」というサミュエル・ウルマンの言葉があります。いつまでも現役という意味ではなく、心に理想を失わないという事です。

今日は、RID2790 12G 「Intercity Meeting」、IM の日です。

本日の IM、インターシティミーティングは、以前はインターシティフォーラムと言っていた事が手続き要覧に書かれています。フォーラムと言うのは紀元前古代ローマの古い言葉で、広場という意味です。広場に集まってみんなで議論しようとい

う事です。ところが、1967年の理事会でRIは、いま迄インターシティーフォーラムに出していた費用を支払わない事と決めました。開催するかどうかは、各ガバナーの裁量に委ねられました。それを境に世界中のほとんどの地区でIMは中止しております。日本ではガバナーがグループ代理に依頼する形で続行しています。1997年からDLP採用によって、1998年版手続き要覧からインターシティーフォーラムと分区代理の文字が消えた事を受けて、IMに関する記載を抹消するに至っております。今や、IMはロータリーの公式行事ではないという事になります。ガバナーの裁量で開催されているという事です。源流の会によりますと、もともとの流れに戻ろうというものですが、従来は暗黙の了解によって、輪番制でガバナー代理が就任するケースが多く、指名を受けたクラブは順番にIMのホストとするとあります。DLPに基づくガバナー補佐の任命はガバナーがグループ内で最もふさわしい人を直接指名するのが原則であるとなっています。もともとはそういう事だったという事で、それに戻そうというのが一昨年にグループ再編の考えであったのかと思いました。日本ではIMは続けるべきとし、親睦を深め、情報を共有する場を設ける必要があるのではないかと、ガバナーの方針が受け継がれているとご理解下さい。

幹事報告

幹事 中村賢治

- ・本日は14日からIMとなります。例会終了後、速やかにご移動下さい。
- ・3/17は通常例会に変更となっておりますので、ご注意下さい。新入会員の入会式を行います。

例会行事

担当：雑誌委員会

委員長 朝戸健夫

本日は大和田地域包括支援センターについて、センター長の安達様にお話し頂きます。いま、高齢化がすごいスピードで進んでおり、皆さんのご家族や周りの方にも様々な問題を抱えている方がいらっしゃる



のではないかと思います。そういう問題をなんでも相談頂けるのが地域包括支援センターです。八千代市には6か所あり、そのうちの5か所は社会福祉法人が運営しております。残りの1か所は八千代市でしたが、今回市から外れて、当地域で初めて医療法人であるセントマーガレット病院が運営する事となりました。

テーマ：地域と医療と福祉の連携

大和田地域包括について

卓話者：大和田地域包括支援センター
センター長 安達直弘様



本日は、地域と医療と福祉の連携、八千代市大和田地域包括支援センターについてお話ししたいと思います。よろしくお願い致します。

最初に私の簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は、九州は福岡県出身で、地元の大学で社会福祉学や心理学を学び、大学卒業後は、児童福祉の施設で約7年間勤務した後、医療関係の道に進み、平成20年10月より医療法人社団恵仁会のセントマーガレット病院へ入職。地域医療連携室・医療相談室という部署に配属され、約15年間、患者さんが抱える療養中の心配事や医療制度に関する事等、種々の相談業務や他の医療機関や社会福祉関係の施設や行政などに当法人のPR活動を行ってまいりました。今年2月1日より大和田地域包括支援センターへ異動となり、現在に至ります。

本日のお話の内容ですが、①最初に法人の理念について簡潔にお話し、地域包括支援センターの役割をよりご理解していただくための予備知識としまして、②地域包括ケアシステムと③介護保険制度についてご説明させていただきます。そして、④八千代市の人口動態をお話してから⑤地域包括支援センターについて、⑥大和田圏域の状況・課題をお話しします。最後に、事例をご紹介します。まとめに

入りたいと思います。

最初に、当法人は昨年、法人設立 60 周年、セントマーガレット病院開院 35 周年という大きな節目を迎えました。法人設立当初より「保健・医療・福祉による総合的なサービスを提供します」という理念を掲げ、医療の側面から福祉の連携に尽力して参りました。（保健医療の領域では、健康管理センターを設置し、疾病予防（健診）や健康講話を通して、健康寿命を延ばす活動。医療や福祉の領域では、居宅介護支援事業所や訪問看護ステーション、通所リハビリテーションの設立。）

そして、昨年8月に八千代市が運営しておりました大和田地域包括支援センターの公募型プロポーザルを経て、当法人が一部受託運営を行う事が決定し、本年2月1日より運営を開始しました。

団塊の世代が、75 歳以上を迎える 2025 年を目前に控え、八千代市大和田地域包括支援センターの事業を通して、地域で抱える現状と課題を皆様へ発信したいと思います。

地域包括ケアシステム（以下：本システムと表記）は、2025 年の高齢社会を迎える前に国が掲げた最も重要な施策の一つです。地域・医療・福祉の連携の在り方の基本的な視点となっています。

本システムは、「団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるサービス体制の構築を実現すること」としています。しかし市町村や都道府県が提供する保険サービスのみでは本システムの完成は不十分である為、地域住民の自主性や主体性を育てていく互助が必要な状況です。

次に八千代市の人口ですが、約 20 万人が居住しています。次に介護保険制度についてです。住み慣れた地域で末永く暮らしていくために、介護が必要な一手前の状態の方や介護が必要になった 65 歳以上（持病などにより 40 歳以上の方が対象となる場合があります）の方が利用できる制度です。

介護保険サービスを利用するためには、申請手続きやかかりつけ医が記載する意見書の提出、訪問調査が必要など、高齢者にとっては、一筋縄ではいかない手続きが必要です。家族の協力が得られれば、家族が代行して申請することも可能ですが、独居世帯や認知症を発症して

いる高齢者にとっては、自ら申請する事が難しいことも珍しいことではありません。また、申請してから結果が出るまでに約1か月を要するため、直ぐにでも介護サービスを利用したい場合でもスムーズに利用を開始できない場合があります。

介護保険サービスには、要介護度【（非該当、要支援1，2及び要介護1～5の計8段階）】という介護サービスの必要量の度合いに基づき、利用できるサービスや頻度が異なっています。サービスの概要としては、①自宅への訪問系サービス（食事介助や掃除、洗濯などの日常生活支援）や②通所系サービス（デイサービスや通所リハビリ、施設への短期入所）、③福祉用具サービス（歩行補助杖や車椅子、ベッド等のレンタル）。そして、④住宅改修サービス（手すりやスロープ等の設置）があります。

以上、「地域包括ケアシステム」と「介護保険制度」についてお話させていただきましたが、本システムの深化や世代を問わず、地域住民が一体となって共存していく社会（地域共生社会）を推進していくための支援を行っていくのが、これからお話する地域包括支援センターの主な役割となります。

地域包括支援センターは、市町村が実施主体となり、平成 18 年4月より市内6ヶ所の圏域に分けて設置されました。そのうち、5ヶ所（①勝田台圏域②八千代台圏域③阿蘇・睦圏域④村上圏域⑤高津・緑が丘圏域）は開設当初より社会福祉法人が一部業務委託として運営。大和田圏域のみは市直営型として運営開始となりました。このように、これまで八千代市の地域包括支援センターは、社会福祉法人を中心に運営されてきました。市直営型として運営していた大和田圏域を医療法人である当法人が受託運営を開始した事は、医療から福祉への相互理解を深める大変良い機会に繋がると考えています。

設置場所につきましても、交通の利便性などを考慮して、八千代中央駅より徒歩2分圏内に事務所を構えました。

地域包括支援センターの職員は、3職種と呼ばれる【保健（看護）師】、【社会福祉士】、【主任介護支援専門員】を中心として配置し、高齢者の総合的な相談業務に携わっています。

相談領域は多岐にわたりますが、①住民の種々の相談に応じる【総合相談】、②高齢者虐待、消費者被害の防止及び対応、判断能力を欠く状況にある人への

支援といった【権利擁護業務】，③圏域の介護支援専門員（ケアマネジャー）へのサポートを行う【包括的・継続的ケアマネジメント支援業務】，④要支援、要介護状態になる可能性のある方に対する【介護予防支援】，⑤地域の資源開発やネットワーク構築を行う【生活支援コーディネーター】，⑥認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境づくりを行う【認知症総合支援業務】があります。

大和田地域包括支援センターが担当する圏域は、大和田・萱田・萱田町・大和田新田の一部・ゆりのき台ですが、大和田圏域の実情をみながら本システムについて考えていきたいと思ひます。

大和田圏域の1万人の高齢者の生活を支えていくためには、高齢者自身ができる限り地域で活躍できる環境を作っていくこと【高齢者の社会参加を促進するべく、老人クラブへの参加やシルバー人材センターへの登録、ボランティア活動など】や【当法人が持つ知識や経験を最大限に生かした健康増進活動（医師による健康講話・看護師による感染対策・リハビリスタッフによる介護予防教室の開催・放射線技師による骨密度測定やマンモグラフィ検査の推奨など）】【現役世代（特に40～60歳代）をサポートとして、見守り体制を強化していくこと】が必要です。

地域包括支援センターが、地域に身近な存在となるべく、4つの視点から機能を発揮していきたいと考えております。結びですが、地域包括支援センターが地域・医療・福祉の連携の拠点となり、地域住民に対してセンターのPR活動を積極的に行っていくこと。介護保険制度の持続に向けて適切な社会資源（地域の体操教室やサークル活動等）の紹介や早期に保健・医療に繋ぐための啓発活動を行い、健康寿命の延伸を図ることを行政や他機関と連携しながら、実践していきたいと思ひます。

第12グループ Intercity Meeting 【ロータリー日本の100年、ロータリーの今】

日時：2023年3月10日（金）点鐘 14:00

会場：ウィシュトンホテル・ユーカリ

君塚会長エレクト方針発表



ニコニコ BOX～

¥1,000-

☆君塚さんいよいよですね。

風間

～友愛 BOX～

¥53,000-

☆大和田包括の卓話です。

よろしくお願い致します。 朝戸

☆安達様、卓話よろしくお願い致します

杉・山浦・稲山・三井・浅野正敏・佐々木花島・江口・菊川・及川・長沼・安宅佐久間・植村・遠藤・栗原・君塚

☆君塚会長エレクトIM頑張ってください！

杉・中村・石渡・市原・古川・田村・飯田寺沢・宮野・中島貞好・浅野正幸・飯生渡邊・永田・日下部・宮田・橋本・池田

☆「感謝の会」大変お世話になりました。

記念品、花束も有難うございました。上代

☆八千代新川千本祭は盛会に終了しました。ライトアップは 12 日までです。協賛頂

きました皆様に感謝申し上げます。杉山

近隣クラブ例会日	例会場
火曜日 四街道R.C	四街道ゴルフクラブ
火曜日 八千代中央R.C	ウィシュトンホテル・ユーカリ
水曜日 習志野R.C	習志野商工会議所会館
水曜日 佐倉中央R.C	第1ウィシュトンホテル・ユーカリ第3夜間オリバート
木曜日 佐倉R.C	フランス料理 シェ・ムラ
木曜日 習志野中央R.C	習志野商工会議所会館

	会員 総数	出席 対象者	出席者	%
3 / 10	5 3	4 5	4 0	88.89

3月のロータリーレート 1ドル¥136-

■クラブ広報委員会 委員長：田村隆治 副委員長：久土地 剛

■出席委員長 山浦恭宏※欠席の際は必ず火曜日迄に出席委員長に連絡して下さい

■例会日 金曜日 12:30～13:30

■例会場 パッソ・ノヴィータ（〒276-0049 八千代市緑が丘 1-1-1 公園都市プラザ 1F）